

令和3年度 那覇市政功労者

市政功労者12名のみなさまは、本市の発展に多大な貢献をされました。これまでの長年にわたるご尽力とご功績に敬意を表し、32万那覇市民を代表いたしまして心から感謝申し上げます。

那覇市長 城間 幹子

☎秘書広報課 ☎861-5173



登録番号468号

あらき きよこ
荒木 喜代子
(69歳)

那覇市社会教育指導員OB会会長などを歴任し、同会の活動の充実・発展及び後進の育成に尽力。また、生涯学習推進協議会委員や社会教育委員として、那覇市生涯学習推進計画の策定への関わりや「なは教育の日」実行委員長を務めるなど、本市の生涯学習の推進に貢献。



登録番号469号

おがた あきこ
小方 明子
(76歳)

仲井真小学校で10年間、真地小学校で20年間の長きにわたり学校医として、児童の健康管理、健康教育ならびに疾病予防に尽力。また学校保健委員会では、アナフィラキシーについての講話やエピソードの使い方など養護教諭、教職員への指導を行うなど、本市の学校保健の増進に貢献。



登録番号470号

かりまた のぶこ
狩俣 信子
(79歳)

平成13年より那覇市議会議員として1期2年余務めたのち、平成15年から4期12年余にわたり那覇市選出の県議会議員を務めた。県議会議員では、文教厚生委員会委員長、予算特別委員会委員長、決算特別委員会委員長等を歴任するなど、県政を通して本市の発展に貢献。



登録番号471号

きやま しずこ
喜屋武 静子
(85歳)

昭和25年から婦人会活動を継続し、那覇市婦人連合会会長を5年間、副会長を10年間歴任し、現在も理事を務め、同連合会の運営及び発展に尽力。また、同連合会会長在職期間には、那覇市民憲章推進協議会副会長等を兼任し、協働によるまちづくりの強力なパートナーとして大きく貢献。



登録番号472号

さくもと たけし
佐久本 武
(77歳)

平成16年から9年間、沖縄県酒造組合連合会会長として、本県の産業振興に尽力。また、那覇市観光協会会長などを務め、本市の観光客の増加や受入体制強化を図るとともに、沖縄県観光コンベンションビューローの理事も務めるなど、本市のみならず沖縄県全体の観光産業の振興に貢献。



登録番号473号

たいら きみよ
平良 君代
(79歳)

那覇市母子保健推進員の活動を続けながら、沖縄県母子寡婦福祉連合会理事も務め、本市の母子生活支援施設の開設に向けて尽力。また、那覇市母子寡婦福祉会会長就任後、子どもへの貧困対策にも尽力。令和2年6月に会長を辞任するまで長年にわたりひとり親家庭、寡婦の福祉の向上に貢献。



登録番号474号

ちはら なんりゅう
茅原 南龍
(82歳)

平成15年の日展特選(書)受賞をはじめ、数々の賞を受賞。後進の育成にも力を注ぎ、県内外、老若男女に日本の伝統文化を伝えている。また、市内18小中学校で講習会を行い、平成15年には日本で2番目の「書道特区」認定を天妃小学校と結び、本市の文化芸術振興に貢献。



登録番号475号

なかむら いちお
中村 一雄
(74歳)

琉球古典音楽の実演家として活躍し、令和元年に国指定重要無形文化財琉球古典音楽保持者として認定を受ける。また県立高等学校で「郷土の音楽」講師を務め、地域への伝統音楽の啓発や伝統音楽関係団体の要職を歴任するなど、後進の育成にも尽力し、沖縄の伝統文化振興に貢献。



登録番号476号

ひが おん な かんじ
東恩納 寛治
(71歳)

那覇中学校区青少年健全育成協議会会長を19年間務め、夜間街頭指導等を実施。また民生委員児童委員として地域の活動に尽力し、その間那覇第三民生委員児童委員協議会会長、那覇市民生委員児童委員連合会副会長を歴任するなど、青少年の健全育成及び地域福祉の推進に貢献。



登録番号477号

ひが さとし
比嘉 聡
(69歳)

琉球古典音楽奏者として活躍し、平成29年に国指定重要無形文化財組踊音楽太鼓保持者として認定を受ける。また、県内外はもとよりアメリカをはじめ20数か国で海外公演を行い、琉球伝統芸能を発信してきた。さらに県立大学にて後進の指導・育成にも努めるなど、伝統文化振興に貢献。



登録番号478号

ひが ともふみ
比嘉 朝文
(76歳)

「首里三ヶ青少年健全育成会」の発起人の一人として当初から活動の中心的役割を担い、同会長を務めるなど27年間にわたり活動を支えた。また首里三ヶ城南校区まちづくり協議会の設立や首里自治会長連絡協議会会長、那覇市自治会長連合会副会長を務め、協働によるまちづくりの推進に貢献。



登録番号479号

ひが よしお
比嘉 良雄
(85歳)

地域貢献への思いが深かったことから、「琉球の風」や「ちゅらさん」の放映に尽力。それらの放映は、沖縄県民に誇りと自信をもたらすきっかけとなった。さらに沖縄都市モノレール株式会社社長を務め、モノレール事業の運営に尽力するなど、その活動は多岐にわたり、様々な分野の発展に貢献。